

2021年4月16日

鎌倉市長 松尾 崇 様

図書館とともだち・鎌倉
代表 和田安弘

旧鎌倉図書館修復のための設計・工事について（質問と要望）

1. 修正設計について

- ・実施設計の修正は、主に構造設計のやり直しと新たにエレベーターを設置することによるものだと思いますが、最初の実実施設計と異なる主な変更点は具体的にどのようなものなのでしょうか。例えば、エレベーターはどの位置に設置され、2階建ての建物に3層の書庫が併設されたことから生まれた床面の段差などはどのように処理されるのでしょうか。それ以外にもありましたら、お示しください。
- ・当会としては歴史的建造物の修復という観点から、外観だけでなく建物内部の仕様についてもできるだけオリジナルな形を残してほしいと要望します。
- ・工事現場に旧図書館に関する説明板を掲示していただいておりますが、完成後も屋内にこの建物の寄贈者である間島夫妻を顕彰するような掲示をしていただくよう要望します。
- ・工事業者の選定と工事そのものが滞りなく進められるためにも修正設計が出来上がった時点で専門家あるいは歴史的木造建築の修復に詳しい業者にチェックあるいは助言を受けていただくことを要望します。

2. 修復工事について

- ・修復工事が始まるのは早くても今年10月以降になると思われませんが、それまでの期間でも風雨などによる更なる腐朽の進行が懸念されます。劣化調査を受けて屋根の補修については措置されましたが、この調査で指摘された「谷屋根末端部の流下水」への対策についても必要最低限の雨どいの設置を要望します。
- ・工事業者が途中で撤退するような事態を繰り返さないために、歴史的木造建築の修復工事を経験している業者が選定されることを望みます。
- ・新年度予算として工事費とともに監理費が成立しましたが、工事管理とはどのような業務で、どのような業者がそれを請け負うのか、ご教示ください。
- ・可能な限りオリジナルな形での修復をという観点から、上げ下げ窓や組立式木造書架など、建具類の保管状況が気になるところです。是非、一度見学させてください。

以上